

## 令和元年度国際言語文化アカデミア実施事業に対する評価

令和2年11月20日

神奈川県立国際言語文化アカデミア外部評価委員会

国際言語文化アカデミアは、多文化共生社会の実現に向けて、「国際社会で活躍できる人材の育成」、「外国籍県民がくらしやすい環境づくり」及び「県民の多文化・異文化理解の推進」を3つの使命として、平成23年度から講座を実施してきました。

そして、国際言語文化アカデミア外部評価委員会では、講座実施目的や実施結果、講座受講者のアンケート結果等を参考にするとともに、一部講座の視察を行いながら、実施事業に係る評価、事業計画の事前評価を行ってきました。

この間、平成26年度及び29年度には、国際言語文化アカデミアの機能や組織・運営面について、外部の有識者による機関評価が行われ、平成29年度の機関評価では、機能については以下のとおり評価されました。

- ・引き続き公的な役割を維持しながら、研修・講座については内容を充実していく必要がある。
- ・神奈川が持つ地域資源を講座に取り入れ、外国人に対し身近な日本社会の実情を発信することが重要である。
- ・多文化共生社会を築いていくため、外国籍県民の積極的な参画も得ながら、日本人に対して異文化理解を促す内容の講座を開催していく必要がある。
- ・ボランティアの養成にあたっては、修了者へのアフターフォローや関係機関への周知等により、実践的な活動につなげていく必要がある。
- ・事業ごとに導入した成果指標と数値目標の検証を進め、目標達成のための方策をカリキュラムに反映するとともに、成果指標そのものについても不断に見直すことが望まれる。

また、組織及び運営については、3事業ごとの特性等も踏まえながら、幅広い視野から、機能を継続・充実するためにふさわしい組織・運営のあり方に速やかに着手すべきである、とされました。

そこで、国際言語文化アカデミアでは、機関評価委員会の提言等を踏まえ、令和元年度の事業計画の立案に当たっては、

- ・訪日外国人の急増や外国人材の受け入れの拡大、また新学習指導要領、4技能入試への移行といった社会動向等を踏まえて事業体系や講座構成の見直しを進め、県施策上のニーズに的確に対応した、地域で中心となって活躍できる実践的な人材育成を着実に実施していく。
- ・ボランティア人材の育成にあたっては、受講者の実践活動に向けた意識の醸成や、修了者へのアフターフォローを行うほか、育成した人材の活用につながるよう、関係機関への当所の事業内容の周知等を図る。
- ・事業ごとに導入した成果指標と数値目標の検証を進め、カリキュラムの改善に反映するとともに、成果指標そのものについても不断に見直す。
- ・平日の参加が困難な県民が受講しやすいよう、受講者のニーズや効率的・効果的な事業運営に留意しながら、引き続き土曜日又は日曜日の開講講座の充実に努める。
- ・横浜駅西口や県西地域等において講座を開講するほか、多言語支援センター等との多様な連携を進めるとともに、市町村研修センター<sup>(\*)</sup>との連携講座を充実する方向で調整する。

- ・開講する講座情報を的確かつ確実に届ける効果的・効率的な広報を実施するとともに、講座への反映を意識した研究活動の充実を図る。

などを実施方針として、事業に取り組んできました。

今回、外部評価委員会では、令和元年度に実施した158講座について、こうした実施方針がどのように事業実績に反映されたか、また、社会情勢の変化や受講者等県民のニーズが事業にどのように活かされたか、さらには、アカデミアの蓄積・ノウハウをどのように継承していくべきかなどの観点から評価を行いました。

なお、アカデミア廃止後の事業展開の説明がありましたが、外国籍県民等支援事業が強調されており、外国語にかかる教員研修事業や異文化理解支援事業への言及が不足していることを指摘しました。

この評価結果を踏まえ、アカデミアの実施講座がさらに充実したものとなり、さらには、今後の神奈川県における多文化共生社会の実現に寄与することを願います。

- (\*) (公財)神奈川県市町村振興協会市町村研修センターは、令和2年4月1日から、(公財)神奈川県市町村振興協会研修課に組織名が変更になりました。

## 総括

令和元年度の研修・講座の実績においては、引き続き社会環境の変化や県民ニーズに対応して、事業体系や講座編成の見直しを進め、異文化を理解した上でより実践的・中心的な役割を担える人材の育成を進めており、柔軟かつメリハリのある運営を行いながら有意義な講座を多数開講し、受講者からも高い評価を得ていることを評価します。アカデミアの残された時間は少ないですが、外部の意見も活かしながら、研修・講座の充実を望みます。

受講者が参加しやすいよう、引き続き土曜日・日曜日の開講講座の充実を図ったほか、横浜駅西口の「KANAFAN STATION」での開講や、各学校への出張研修、市町村・日本語ボランティア団体への出前講座などを通じて、受講者の利便性に配慮しつつ、研修・講座の開催時期・方法を工夫し、受講者の拡大を図っていることを評価します。

関係機関との連携については、県職員キャリア開発支援センター、多言語支援センターとの連携や、市町村研修センターとの連携講座など、多様な連携が進んでおり、それぞれの機関の特性を活かした相乗効果を期待します。

アカデミアは令和2年度が最終年度になることが予定されていますが、これまでアカデミアで培われてきた知見やノウハウが着実に移管先に継承され、事業が発展的に実施されるよう、関係機関と調整されることを強く望みます。

以下、それぞれの事業について、意見を述べます。

### 1 外国語にかかる教員研修事業

前年度に引き続き、研修全般において受講者の満足度が高く、教員自身の英語力の向上を通じて児童・生徒のコミュニケーション能力の向上や多文化理解の促進を図るという目的に向け、成果を十分に上げています。

また、思考力・判断力・表現力の育成や、4技能・5領域（聞くこと、話すこと（プレゼンテーション、やり取り）、読むこと、書くこと）を育てる研修を充実させ、新学習指導要領に対応し、理論と実践の両輪に基づいて実施しており評価します。引き続き、児童・生徒を的確に指導できる人材の育成を期待します。

アカデミアの良さは理論研究と実践研究の両方ができることであり、理論と実践を融合させた実践研究の成果をあげています。今後、県総合教育センターにおいても、アカデミアが目指した方向性で取組を進め、アカデミ

アのDNAが生きていくことを望みます。また、英語研修について、他の教科と一緒に埋没することがなく、さらには、必要な人材の確保や後進の育成を図っていくことを期待します。

#### <英語教育アドヴァンスト研修について>

知識・スキル・態度の変容や授業における教科指導技術の変容といった成果指標の数値は、目標には達しませんでした。概ね良好であり評価します。

実演形式によるワークショップを通じて教員が言語活動の手順とその理論的背景について理解を深めるとともに、「高等学校英語教員フォーラム」による修了者のネットワークづくり、個別のアクション・リサーチ指導や出張研修などを実施し、これまでも大きな成果を上げており、県総合教育センターに移行後も、質を下げることなく継続して実施されることを望みます。

#### <英語教員研修講座（夏期・平日）について>

研修に参加する教員は、往々にして明日の授業に役立つことを求めて参加していますが、その視点だけだと積み重ねがなく英語教育分野全体に貢献するわけではないので、その成果を一般化することを望みます。

4技能育成のバランスの取れた研修や、Wi-Fi環境やタブレット端末等多様なICT技術を活用した研修などを継続的に実施しており、県総合教育センターに移行後も、現状に対応するくらいの研修を実施されることを期待します。

#### <小学校英語研修講座について>

小学校英語は令和2年4月から学習指導要領が完全実施されている中で、小学校教員の不安を軽減させようとする良い講座であり、前年度とほぼ同規模の367名の教員への出張研修を行い、受講者や主催者から高い評価を得ていることを評価します。今後とも可能な限りのサポートを望みます。

小学校教員の不安と負担は大きく、県総合教育センターに移行後も、アカデミアが行っている出張研修を何らかの形で継続されることを望みます。

## 2 異文化理解支援事業

引き続き英語・中国語・スペイン語・フランス語の4言語において、初歩編・基本編・発展編・フォローアップ編として体系的に実施され、アジア・南米関連講座についても充実した講座編成となっており、神奈川県地域資源に関する事項や共生意識の醸成につながる内容を盛り込むなど、異文化理解の促進と多文化共生の実現に向けて評価できる内容となっています。

講座修了者の実践活動については、令和元年度は「講座修了者・受講者のつどい」が開催できず、成果指標では積極的な回答の割合が低下していますが、引き続き講座内での意識付けをさらに高めるなどの工夫をして取り組んでいくことを望みます。

#### <コミュニケーション支援ボランティア養成講座について>

成果指標では、英語基本編は全10項目の平均値が1段階上がり、発展編も前年度と比較して上昇しており、成

果は出ています。一方で、積極的な回答の割合は基本編・発展編とも前年度を下回っており、改善を期待します。

アジア・南米関連講座は、受講後の意識変化に関する肯定的な割合が84.3%と上昇しており評価します。今後も講座内容を工夫するなどし、より一層の共生意識の醸成に向けて期待します。

「受講者満足度」はよい指標ですが、「何々について説明できるようになる」など具体的な達成目標を示すことも、後で受講者自身が評価し自己点検できるという意味でもあると良いので提案します。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対応のため、英語・中国語・スペイン語・フランス語の初歩編修了者が基本編までしか受講できなくなったのは残念ですが、上半期に一部の講座をオンライン講座として実施するなど工夫が見られます。

#### <行政職員コミュニケーション能力向上講座>

グローバル化の進展の中で、言葉のみならず、その国の文化の違いや基本スタンスを理解することがますます大事になってきます。多くの受講者があり、受講満足率も上昇しており、上手く機能していると評価します。

(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、中止となりました。)

#### <青少年向け異文化理解・コミュニケーション能力向上講座>

平成30年度に休止し在り方を検討していましたが、高校生のニーズに合った形で、現在も将来も「役に立つ」視点で内容を見直して実施し、受講者数が前回は上回るなど成果をあげており評価します。

(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、中止となりました。)

### 3 外国籍県民等支援事業

日本語ボランティアの養成や「やさしい日本語」の普及、外国籍県民等に対する「はじめての日本語」講座など各種講座を着実に実施しており、外国籍県民がくらしやすい環境づくりに貢献しています。

この事業は、国による外国人材の積極的受入れ施策の推進により、新型コロナウイルス収束後はさらに地域に外国籍の方が増えることが見込まれ、ますます重要になってきます。行政施策と連携し一層取組を充実させていくことを期待します。

今後、かながわ国際交流財団に事業が移行されますが、上手に移行するのは人のなせる業であり、人との交流を繰り返す必要があるため、よく調整されることを望みます。また、地球市民かながわプラザほかの情報提供機関にもアカデミアの蓄積が残されることを期待します。

#### <外国籍県民等支援ボランティア養成講座について>

「日本語ボランティア入門講座」の成果指標では、修了者の講座開始時と終了時との知識・スキル・態度の変容について積極的な回答の割合が大きく上昇しており、国の施策に対応し受講者のニーズに即した的確な講座内容であったと評価します。

出前講座については、受講団体数や受講者数が増加していることを評価します。引き続き地域のニーズに応え

積極的に取り組むことを望みます。

『やさしい日本語』でつながるコミュニケーション・シート」の活用講座を実施したほか、令和2年度は新たに災害編をホームページに掲載しましたが、講座を通じてより一層の活用を促進するとともに、多くの人に届くよう情報発信にも期待します。

コロナ禍においては、日本語ボランティアへのサポートは対面とオンラインの両方が必要です。また自宅を離れられない人もおり、アカデミアの講座やネットワークの中で、オンライン対応のサポートを期待します。

アカデミア廃止後は市町村の役割が重要になります。市町村と地域のボランティア団体との信頼関係を高め、市民の力を引き出し、連携・協力して取組を進めていくことを期待します。

#### <行政サービスのための「やさしい日本語」研修講座について>

「やさしい日本語」の普及が行政向けの講座にとどまることなく、市民サイドに対してもいかに大切かということ学ぶ機会を設けることを望みます。

行政職員が外国籍県民や日本語教室の状況を把握し、外国籍県民どう支えていくかを考える講座はとても大切であり、受講者が増加するよう取り組むことを期待します。

#### <生活の自立を図るための日本語・日本社会理解向上講座について>

日本語能力試験講座は到達目標をN1からN2に変更したことで、受講者が増加し効率的に学習の向上が図られるなど、対応に工夫が見られます。

「はじめての日本語」講座をかながわ国際交流財団に継承するにあたり、今年度の県委託事業においてアドバイスや相談によく乗っていますが、的確にアカデミアのノウハウが継承されることを望みます。

外国籍県民に対する日本語講座も、今後は、受講者のカテゴリーや属性は広くとりつつ、いろいろな人が受講できるように、オンラインとの併用は課題であると考えます。

## 1 国際言語文化アカデミア外部評価委員会設置目的

国際言語文化アカデミアが実施する多文化共生社会づくりへ向けた各種講座について、より効果的・効率的な事業推進を図るため、講座内容や実施方法等に関し、外部の有識者で構成する外部評価委員会を設置し、事業評価を実施する。

## 2 外部評価の手法

### (1) 事後評価

各講座で実施したアンケートによる受講者評価及び講座担当教員が行う自己評価に加えて、一部講座の視察結果等を踏まえ、講座内容や実施方法等について評価を行う。

#### ①受講者による評価

各講座受講者を対象に、受講後、講座に対する満足度や感想、要望等について自由に記入するアンケート調査を実施

#### ②自己評価

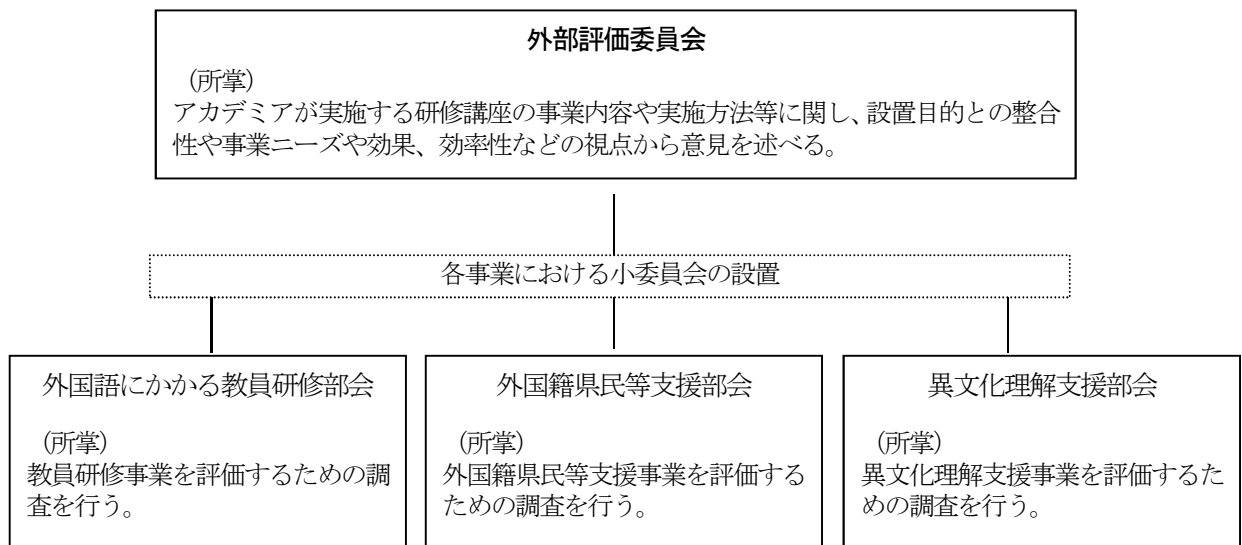
①の受講者による評価結果を踏まえ、講座を担当した教員が、自分の実施した講座についての自己評価を実施

### (2) 事前評価

次年度実施予定講座について、外部評価委員会での事後評価結果等を踏まえ、講座内容や実施方法等について評価を行う。

## 3 外部評価委員会の構成

次のとおり、外部評価委員会と3つの小委員会から構成される。



#### 4 外部評価委員

第5期委員（任期：令和元年7月1日から令和3年3月31日（予定））

(50音順)

氏名	役職等	所属小委員会
編田 照茂	(公社)青年海外協力協会あーすぷらざ館長	外国籍県民等支援
粕谷 恭子	東京学芸大学教授	外国語教員研修
狩野 晶子	上智大学短期大学部教授	外国語教員研修
田倉 保	公募委員	異文化理解支援
○中 和子	ユッカの会代表	外国籍県民等支援
◎服部 孝彦	大妻女子大学教授	外国語教員研修
福富 洋志	放送大学神奈川学習センター所長	異文化理解支援
矢部 まゆみ	横浜国立大学非常勤講師	外国籍県民等支援
渡邊 慎介	横浜国立大学名誉教授	異文化理解支援

※ ◎委員長 ○副委員長

#### 5 外部評価委員会による評価結果

##### (1) 事後評価

- ・平成23年度実施事業(4月～9月)に対する評価 平成23年12月19日公表
- ・平成23年度実施事業(10月～3月)に対する評価 平成24年11月30日公表
- ・平成24年度実施事業に対する評価 平成25年6月28日公表
- ・平成27年度実施事業に対する評価 平成28年9月29日公表
- ・平成29年度実施事業に対する評価 平成30年9月13日公表
- ・平成30年度実施事業に対する評価 令和元年9月27日公表
- ・令和元年度実施事業に対する評価 令和2年11月20日公表

##### (2) 事前評価

- ・平成24年度事業計画に対する事前評価 平成24年3月30日公表
- ・平成25年度事業計画に対する事前評価 平成25年2月28日公表
- ・平成26年度事業計画に対する事前評価 平成26年3月7日公表
- ・平成27年度事業計画に対する事前評価 平成27年5月29日公表
- ・平成28年度事業計画に対する事前評価 平成28年3月31日公表

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ・平成29年度事業計画に対する事前評価 | 平成29年4月28日公表 |
| ・平成30年度事業計画に対する事前評価 | 平成30年5月2日公表  |
| ・平成31年度事業計画に対する事前評価 | 平成31年3月28日公表 |
| ・令和2年度事業計画に対する事前評価  | 令和2年5月13日公表  |

## 6 外部評価委員会の開催状況

### (1) 外部評価委員会

- 第1回 平成23年8月1日（月曜日）
- 第2回 平成24年2月1日（水曜日）
- 第3回 平成24年7月1日（日曜日）
- 第4回 平成25年1月21日（月曜日）
- 第5回 平成25年5月23日（木曜日）
- 第6回 平成26年1月23日（木曜日）
- 第7回 平成27年3月21日（土曜日）
- 第8回 平成28年2月11日（木曜日）
- 第9回 平成28年6月12日（日曜日）
- 第10回 平成29年1月31日（火曜日）
- 第11回 平成30年2月3日（土曜日）
- 第12回 平成30年6月2日（土曜日）
- 第13回 平成31年1月29日（火曜日）
- 第14回 令和元年6月11日（火曜日）
- 第15回 令和2年1月29日（水曜日）
- 第16回 令和2年8月26日（水曜日）

### (2) 小委員会

#### ア 外国語にかかる教員研修部会

- 第1回 平成23年8月1日（月曜日）
- 第2回 平成23年9月7日（水曜日）
- 第3回 平成24年2月1日（水曜日）
- 第4回 平成24年7月1日（日曜日）
- 第5回 平成24年9月12日（水曜日）
- 第6回 平成25年1月21日（月曜日）
- 第7回 平成25年5月23日（木曜日）
- 第8回 平成25年8月1日（木曜日）
- 第9回 平成26年1月23日（木曜日）
- 第10回 平成27年3月21日（土曜日）
- 第11回 平成27年9月17日（木曜日）



- 第12回 平成28年2月11日 (木曜日)
- 第13回 平成28年6月12日 (日曜日)
- 第14回 平成28年8月17日 (水曜日)、9月23日 (金曜日)
- 第15回 平成29年1月31日 (火曜日)
- 第16回 平成30年2月3日 (土曜日)
- 第17回 平成30年6月2日 (土曜日)
- 第18回 平成30年7月31日 (火曜日)、8月13日 (月曜日)
- 第19回 平成31年1月29日 (火曜日)
- 第20回 令和元年6月11日 (火曜日)
- 第21回 令和元年8月13日 (火曜日)
- 第22回 令和2年1月29日 (水曜日)
- 第23回 令和2年8月26日 (水曜日)

**イ 異文化理解支援部会 (第10回までは生涯学習支援部会)**

- 第1回 平成23年8月1日 (月曜日)
- 第2回 平成23年9月3日 (土曜日)
- 第3回 平成24年2月1日 (水曜日)
- 第4回 平成24年7月1日 (日曜日)
- 第5回 平成24年9月29日 (土曜日)
- 第6回 平成25年1月21日 (月曜日)
- 第7回 平成25年5月23日 (木曜日)
- 第8回 平成25年9月21日 (土曜日)
- 第9回 平成26年1月23日 (木曜日)
- 第10回 平成27年3月21日 (土曜日)
- 第11回 平成27年10月3日 (土曜日)
- 第12回 平成28年2月11日 (木曜日)
- 第13回 平成28年6月12日 (日曜日)
- 第14回 平成28年10月20日 (木曜日)
- 第15回 平成29年1月31日 (火曜日)
- 第16回 平成30年2月3日 (土曜日)
- 第17回 平成30年6月2日 (土曜日)
- 第18回 平成30年10月5日 (土曜日)
- 第19回 平成31年1月29日 (火曜日)
- 第20回 令和元年6月11日 (火曜日)
- 第21回 令和元年10月4日 (金曜日)
- 第22回 令和2年1月29日 (水曜日)
- 第23回 令和2年8月26日 (水曜日)

## ウ 外国籍県民等支援部会

- 第1回 平成23年8月1日(月曜日)
- 第2回 平成23年9月17日(土曜日)
- 第3回 平成24年2月1日(水曜日)
- 第4回 平成24年7月1日(日曜日)
- 第5回 平成24年9月18日(火曜日)
- 第6回 平成25年1月21日(月曜日)
- 第7回 平成25年5月23日(木曜日)
- 第8回 平成25年7月18日(火曜日)
- 第9回 平成26年1月23日(木曜日)
- 第10回 平成27年3月21日(土曜日)
- 第11回 平成27年10月3日(土曜日)
- 第12回 平成28年2月11日(木曜日)
- 第13回 平成28年6月12日(日曜日)
- 第14回 平成28年10月8日(土曜日)
- 第15回 平成29年1月31日(火曜日)
- 第16回 平成30年2月3日(土曜日)
- 第17回 平成30年6月2日(土曜日)
- 第18回 平成30年9月28日(金曜日)
- 第19回 平成31年1月29日(火曜日)
- 第20回 令和元年6月11日(火曜日)
- 第21回 令和元年9月30日(月曜日)
- 第22回 令和2年1月29日(水曜日)
- 第23回 令和2年8月26日(水曜日)